

「頭頸部癌における CD109 発現の検討」の研究のお知らせ

頭頸部癌の治癒率は現在でもいまだ十分とは言えず、また癌の進行度が同様であっても、個々の患者さんで化学療法・放射線治療への効果や予後が大きく異なる場合が多々あります。これは同じ頭頸部癌であっても、その性質に大きな違いがあることを示していますが、その性質の違いを見極め、治療効果や予後を完全に予測することは現時点ではできません。これが可能になれば、個別の患者さんに対してより適切な治療（オーダーメイド治療）が行える可能性があり、今後の治療成績の改善に大きな意義があると考えられます。我々は CD109 という因子に着目しています。この因子が頭頸部癌の悪性度や治療感受性、予後に関与するか研究を進めています。

2005 年 1 月 1 日より 2016 年 12 月 31 日までの間に、北里大学病院において頭頸部癌の治療を受けられた患者さんのうち、北里大学病院病理部および耳鼻咽喉科・頭頸部外科に生検組織および手術時切除組織のホルマリン固定パラフィン包埋標本が保存されている約 500 名の方を対象とします。

上記の患者さんの病理検体を用いて、腫瘍での CD109 の発現異常が予後や治療効果に影響を及ぼしていないかを調べます。今回、患者さんに新たな検査を追加することはありません。既に保存されている病理検査標本の一部をこの研究のために使用させていただきます。

本研究では標本などの個人情報には匿名化され、個人が特定されることはありません。また個人が特定されるような情報は一切公表しません。過去に当院で頭頸部癌の治療を受けられた方で、ご自身の病理検査標本や情報を本研究に使わないでほしいというご希望があれば担当医師あるいは以下の連絡先までご相談ください。病理検査標本や診療情報の提供を拒否しても患者さんに不利益はありません。

連絡先（研究事務局）：北里大学医学部耳鼻咽喉科・頭頸部外科

つつみ しょうへい
堤 翔 平

〒 252-0375 神奈川県相模原市南区北里 1-15-1 北里大学病院

TEL : 042-778-8111